

令和5年度

# 学生によるオレンジリボン運動

## 鈴鹿医療科学大学 実施報告書



実施主体 鈴鹿医療科学大学 佐脇ゼミ

実施内容 児童虐待防止のための啓発活動と募金活動

### ①事前に取り組んだ内容

児童虐待の現状等について調べ、どのような対応が必要かを考えた。その上で、大学祭で行なうオレンジリボン運動の準備として、ポスターや缶バッジ、ティッシュに入れるチラシを作成した。ポスターには、国の児童虐待についての現状や、三重県で実際にあった児童虐待の事件、それに対し私たちができる対策を考えて記載した。ポスター・ティッシュ・缶バッジには虐待対応ダイヤルである「189」を記載し、一人でも多くの人に児童虐待防止に関心をもってもらい、運動を広めることを目指した。

### ②実施期間に取り組んだ具体的内容

2日間の大学祭では、児童虐待防止の旗やポスターを設置したオレンジリボン運動のためのブースをつくり、ゼミのメンバーがオレンジのTシャツを着用してチラシやティッシュ、缶バッジを配布し、募金活動も行なった。また、運動に興味を示してくれた人には積極的に声をかけ、より細かい説明を行なった。一人でも多くの人に運動を知ってもらえるよう、通りかかる人一人ひとりに声掛けをする気持ちで取り組んだ。

### ③オレンジリボン運動を終えて…

2日間を通して、元々運動を知っていた方がいたのが印象的であり、興味・関心を抱いてくれる人が多くいて、運動にやりがいを感じた。また、運動の準備としてポスター作りをする際、児童虐待について調べ、理解を深めていく中で、虐待をどうしたら防げるのか、見つけられるのかを考える良い機会となったと感じる。これからも、児童虐待について学び続け、地域全体で子どもを見守る体制をつくるには、住民や行政にどのようなはたらきかけをしたらよいか、考えていきたい。



【鈴鹿医療科学大学】 <https://www.suzuka-u.ac.jp>

 @fuku.no.ne\_style